

令和5年度 学校経営計画書

石川県立羽松高等学校

校長 平瀬 方識

1 教育目標

「克己・精進」の校訓のもと、確かな学力・豊かな心・健やかな身体を育み、社会に貢献できる人材を育成する。

2 中・長期的目標

(1) 学校の現状

- ① 素直で大人しい生徒が多数を占める。ほぼ全員が不登校経験者で全日制高校から転・編入学する生徒が一定数いる。
- ② 生徒の成育歴・学習歴等が多様化する中で、学力や学習意欲が十分に備わっていない生徒もいる。
- ③ 自己有用感や自己効力感が低く、他者との円滑なコミュニケーションが不得意な生徒が見られる。また、発達障がいやその疑いのある生徒など困難を抱え、自立支援が必要な生徒がいる。

(2) 生徒に関する中・長期的目標

- ① 円滑なコミュニケーション力を育成し、他者を思いやる心を育むための指導法を工夫する。また、「通級」における有効な指導法を教員全員で共有し、通常級の取り組みに生かす。
- ② 基本的生活習慣を確立させ、向上心を持った生徒を育成する。
- ③ 社会（地域）と積極的に関わり、地域とともに学びあうことで、自らの生活を主体的にまた豊かに創造しようとする力を育てる。
- ④ 正規就労など望ましい勤労観、職業観を育成し、生徒一人ひとりが進路実現を目指すための支援を行う。就労支援に関する諸機関や地元企業との連携を深め、キャリア教育を充実させる。

(3) 教職員、学校組織等の望ましい在り方

- ① 教職員が常に学び合う姿勢を持つとともに、特別な教育的支援を必要とする生徒への支援を生かした学級経営・学習指導を行う。
- ② 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実のために、生徒が1人1台端末を使うような授業を日常的に実施する等、ICT機器を効果的に活用する授業の工夫・改善に努め、生徒の多様性に対応した学びの実現と学びの質を保証する。
- ③ 生徒一人ひとりの豊かな心を育み、コミュニケーション力の向上を図るための取り組みを学校全体で実施する。
- ④ 校務の適切な分担や業務改善の意識を高め、適正で効率的な前例踏襲にとらわれない校務の遂行に努める。

3 今年度の重点目標

- ① 今求められる必要な力を育成するとともに、生徒一人ひとりの適性と能力に応じたきめ細かい学習を行うため、指導に関わる全教員で個々の教育的ニーズを把握したり、手立てを検討したりしながら指導の充実を図る。
- ② 基本的な生活習慣を確立し規範意識を高めるとともに、道徳心や倫理観の向上を図る。
- ③ 学校行事等に積極的に参加することを通して自己肯定感や協調性、コミュニケーション力を高め、社会人として必要な素養を身につける。
- ④ 外部人材を招いて「就業支援コーディネートチーム」を組織し、卒業時の進路未決定者の減少に向けた取り組みを推進する。
- ⑤ 教職員の時間意識を高めながら働き方改革を推進し、より効果的な教育活動や生徒指導の充実につなげる。